

## はやぶさ探査機による小惑星イトカワの観測結果概要

### Summary of Observational Results on Asteroid Itokawa Obtained by Hayabusa Spacecraft

# はやぶさサイエンスチーム 藤原 顕 [1]

# Akira Fujiwara HAYABUSA Science Team[1]

[1] -

[1] -

小惑星サンプルリターン探査機はやぶさは2003年5月にM5-5号機により打ち上げられた工学実験探査機である。イオンエンジンを連続的に稼働させ続けながら、地球スイングバイを経て、9月12日、地球型小惑星イトカワの近傍20kmのところに到着し、さらに9月30日には7kmのところに到達した。10月8 - 28日にはイトカワの近辺を、高度を下げたり、太陽との位相角の異なる位置に移動しながら観測を行なった。さらに10月20日と26日にはタッチダウンを行った。探査機には多色フィルター付きイメージングカメラ、近赤外分光器、X線スペクトロメーターが搭載されていた。これらの観測機器はすべて正常に動作し、多くのデータを取得した。本報告では、はやぶさの観測によってイトカワについて得られた知見について、概要を簡単に述べる。

#### 参考情報

<http://www.isas.jaxa.jp/j/enterp/missions/hayabusa/relate.shtml>

Fujiwara, A. et al. 他, 複数の関連論文は SCIENCE に投稿中。